

河川事業の再評価概要書

()は、前回再評価時

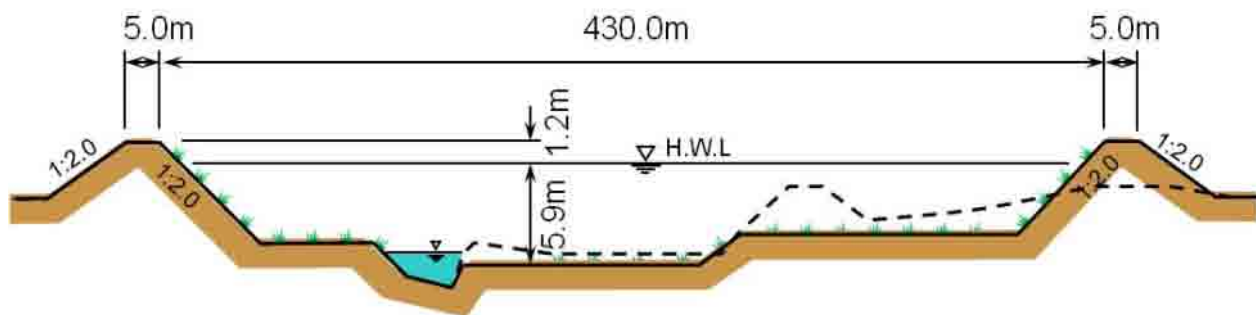
		番 号	101	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>おもいがわ</small> 思川		事業箇所名	<small>おやまし</small> 小山市
事業区間	<small>おやましおとめ</small> 小山市乙女地先～ <small>おやまししまだ</small> 小山市島田地先		事業延長	11,413m
平成9年度事業化			平成9年度用地着手	平成9年度工事着手
事業期間	(H9～H38) H9～H38	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[13.7(13.7)億円] 63.4(63.4)億円		進捗率 [うち用地補償費] [10.8億円] [79%] 既投資事業費 41.3億円 65%	
事業概要				
<p>思川は、その源を足尾山地の地蔵岳に発し、本県の中央部から南部を南下しながら、黒川、姿川などの支川を合流し、渡良瀬遊水地に流入する一級河川である。</p> <p>計画区間は、堤防が低く流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。そこで、築堤等により河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
<p>計画区間の上流部において、平成19年度にJR両毛線の鉄道橋架替工事（鉄道橋・道路橋緊急対策事業）を完了している。</p> <p>沿川の小山遊園地跡地において、平成19年に大規模商業施設が開業した。</p>				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益(B)】	【総費用(C)】	
1) 事業全体	B/C= 8.2	1,077.3億円	131.1億円	[L= 11,413m 区間]
2) 残事業	B/C= 4.4	78.3億円	17.8億円	[L= 2,120m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、商業施設、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長11,413mのうち、小山市乙女地先から小山市島田地先の9,293mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト縮減等				
① コスト縮減方策				
護岸は、橋梁などの構造物周辺や水衝部など必要な部分への設置を基本とし、また、築堤の盛土材については発生した残土を流用し、工事費の縮減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間において、築堤工事が概成していることから、現行計画で事業を進めることが最適である。				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



一級河川思川

計画流量	3700m ³ /s
現況流下能力	概ね2,500m ³ /s

概要図

